

第 30 回 全日本女子スリークッション選手権大会

世界女子スリークッション選手権大会 代表選考会 [兼] 《大会要項》

日 程：2023 年 4 月 1 5 日(土)・1 6 日(日) 開始時間未定

会 場：千代田区／霞が関ビル内 霞が関プラザホール
東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」徒歩 2 分 他最寄り駅多数(徒歩 6 分～10 分)
(〒100-6090 東京都千代田区霞が関 3-2-5)

試合方式：クロック使用 [40 秒自動更新／全ゲーム TimeOut- 2 枚] *選手細則参照

4 月 1 5 日 (土) 予選ラウンド [出場総数により方式を決定：3～5 名リーグ戦]

4 月 1 6 日 (日) 決勝ラウンド [4～5 名の 18 点リーグ戦]

シード：選手権者 西本優子 (JPBF)

+順位決定戦 [25 点シングルトーナメント・裏撞き無し]

*大会方式 及び 試合点数は、出場総数により決定いたします

出場資格： 地区枠はございません (第 30 回の節目となります本大会を霞が関ビル内特設会場にて開催するに伴い、地区選抜枠数を設けない方式をとります)

- 要 C S カード (CS 登録は 3/31 にて有効期限が切れる為、試合前の更新を忘れない事)
- 日本国籍を有する者
- 概ね 17 点以上の持ち点である事を推奨
- 国際的に共有されるアンチ・ドーピング活動の基本理念を理解し規則を遵守し随時の検体採取に応じられる選手に限る (全参加者がエントリー時点でアンチ・ドーピング活動の定める規則遵守に承諾したとみなされます 添付別紙をご確認ください)

出 場 費：1 5,0 0 0 円

《振込先》 三菱 UFJ 銀行 下北沢支店

(普)0250160 日本ビリヤード協会関東支部事務局

* N B A 各支部からの一括入金 * 関東支部加盟店は店舗にて一括入金
それ以外は、振込名の冒頭を「プレーヤー氏名」にて入金してください

締 切 日：3 月 3 日(金) 付けの入金確認にて締切り

申込方法：3月3日(金) 必着にて、各支部事務局より下記アドレスまでお申込みください
alljapan.3c@gmail.com

- ① 出場プレイヤー氏名
- ② 所属支部名
- ③ 全日本女子選手権大会 最高位
- ④ 顔写真（画素数の高い写真を送信してください）

出場経験のあるプレイヤーは差替えを希望されない限り不要ですが、出来る限り
本年度用の写真提供に御協力ください

組 合 せ：試合方式・組合せは3月18日(土)夜半迄に発表します

協力依頼：関東支部 加盟店各位

レフリー輩出へのご協力をお願いします [謝礼有り]

**本大会は、2023.9/12-14(トルコ)にて予定されている 第11回 世界女子スリークッション選手権大会
及び アジア選手権等が開催される際の、権利期間内に於ける日本代表選考会を兼ねます**

- * 主管国や世界情勢により国際戦は予告無く中止となる可能性がございます、ご理解の上ご出場ください。
- * 霞が関ビル特設開催に伴う要項等であり、全て本年度だけの適用となります。
- * 代表権に通じる本開催に於いてはLPBA 選手の出場を受付ける事が出来ません。

主催：公益社団法人 日本ビリヤード協会

〒160-0013 東京都 新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 704 号室

公益社団法人 日本ビリヤード協会

Tel. 03-5770-7911 Fax. 03-5770-7913

主管：日本ビリヤード協会 関東支部

Mail. info@nba-kanto.com Fax. 03-5770-7913

2023.2.17

第30回 全日本女子スリークッション選手権大会

世界女子スリークッション選手権大会 代表選考会 [兼] 《選手細則》

服装規定： 全日本選手権に相応しい服装である事（正装 若しくは 盛装）

* 競技・表彰式ともに日本国旗やオリンピック(JOC 含)に関わるマークの装着禁止]

* 極端な肌の露出、バックストラップの無い靴は禁止

* 頭部を覆う物を禁止します（特別な事情がある場合は事前に申告する事）

集合時間： 呼び出し時に試合に入らず 10 分間経過すると失格(大会そのもの)となります

* 同回転内でゲームNo.の変更を依頼する可能性がございます 予めご了承の上大会運営へのご協力をお願いします

練習： リーグ戦／各自第1ゲーム目5分、第2ゲームから5キュー

順位決定戦／全ゲームとも各自3分

試合方式： バンキングに関して UMB ルールを適用し 以下の通りと致します

☆ レフリーコールが終わった後 両者揃ってバンキングをすること

先に撞いた手球が短クッション到達前までに後者が撞き終わっていない場合はファールとなり初球選択権を失います レフリーコールが終わる前にバンキングを撞いた場合はノーカウントとし再度バンキングを行います 2 回目にバンキングを行った結果再度ノーカウントとなった場合ファールをした選手に初球選択権がなくなりますのでご注意ください

☆ 各テーブルにクロックを配置いたします

☆ 40 秒ルール Time Out 全ゲーム 2 枚（Time Out 自動更新：申告不要）

☆ 与えられた Time Out の枚数を使い切りショットまでに 40 秒経過させるとファールとなります（プレイヤー交代、相手は必ず初球立直してからプレーします）

☆ ロスタイムの申請はレフリーが認識しない限りクロックが進み続けるため明確に行う事
ロスタイムオフはレフリーが判断します

☆ 試合中の離席（トイレタイム）について

予選 及び 決勝ラウンド（リーグ戦）

Time Outは1ゲームに1回1枚を使用してトイレタイムを取る事ができます（良識の範囲内 5分を限度とする事）自分の順番時にのみ使用可能 Time Outを失った後は持ち時間の範囲内で済ませる事 休憩では無いのでトイレ以外（喫煙等）認めません

決勝トーナメント（25点 シングルトーナメント：裏撞き無し）

どちらかのプレイヤーが13点に達したイニング後 レフリーの指示及び計測により 5分間以内の休憩を取ります

* Time Outを使用してのトイレタイムはできません

競技使用設備

テーブル： Min Billiards Table

ラシャ： classone (UMB 公認)

ボール： Dyna spheres (UMB 公認)

-アンチ・ドーピングに関する注意事項-

アンチ・ドーピングは競技ピリヤードに於いても国際的に取り決められた義務であり国内でのプロセスはその一切が日本アンチ・ドーピング機構に委ねられています。

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
2. 本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
3. 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイトからダウンロードできます。

親権者同意書フォーム <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>

18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、JADA ウェブサイトでご確認下さい。JADA ウェブサイト <http://www.playtruejapan.org>

補記：上記以外の注意事項

- A. アンチ・ドーピング基本理念に則り全競技者の課せられた責務として、自己が摂取又は使用する食品・サプリメント・薬品等についての責任は出場者自身が負わなければなりません。

薬品類についての問い合わせ <https://www.realchampion.jp/knowledge/medicine>

B. 医師の治療にかかる際は、禁止物質や禁止方法を使用してはならないという自己の責務を伝え、自己に施される治療がアンチ・ドーピング規則に違反しないことを確認しなければなりません。

治療に関する医療従事者サイト

<https://www.playtruejapan.org/medical-staff/medicine.html>

C. 競技会検査対象大会の参加者で治療のため禁止物質や禁止方法を使用する必要がある場合は、予め JADA に TUE(治療使用特例)を申請し承認を得ておかなければなりません。

TUE 取得条件・申請に関する医療従事者サイト

<https://www.playtruejapan.org/medical-staff/tue.html>

D. 競技会検査対象大会と公表されていなくても、「全日本レベルの大会」は全てドーピング・コントロール対象大会である為、大会終了直後を含めた随時に競技会外検査が参加者に実施される場合があり、これを拒否または回避することは制裁の対象となります。予め JADA に TUE を申請し承認を得ておく必要はありませんが、検査が実施されて陽性となった場合は JADA から事後の TUE 申請が求められ、これが承認されない場合は制裁の対象となります。従って、担当主治医に TUE 取得条件を満たしていることを確認してもらった上で治療を受けてください。

E. 検査対象者は上位入賞者に限らず、ランダムに複数名が抽出されます。

参考：競技者の責務について < [日本アンチ・ドーピング規程 抜粋](#) >

24.2 いつでも検体採取に応じること。

24.3 アンチ・ドーピングとの関連で、自己の摂取物及び使用物に関して責任を負うこと。

24.4 禁止物質及び禁止方法を使用してはならないという義務を負っていることを医療従事者に対して自らが伝達するとともに、自らが受ける医療処置についても、本規程に基づき導入されたアンチ・ドーピング規範及び規則に対する違反に該当しないようにすること。

[日本アンチ・ドーピング規程](#)

<https://www.playtruejapan.org/code/provision/japan.html>

※ 日本アンチ・ドーピング規程は、世界アンチ・ドーピング規程に規定されている各条項に基づいて作成された日本国内におけるアンチ・ドーピング規則です。また、日本アンチ・ドーピング規程では、WADA が定めている国際基準に基づき活動を展開することが規定されています。

日本アンチ・ドーピング規程では、日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会、日本スポーツ協会、JADA に加盟する国内競技連盟、都道府県スポーツ協会に適用され、各組織の役割と責務を規定しています。また、個人の立場から見ると、国内競技団体に所属していたり、国内競技団体の主催する活動や競技大会に参加することによって、アスリートやサポートスタッフにも日本アンチ・ドーピング規程が適用される構造になっています。